

トランジション合宿のご案内

地域でトランジション活動を始めるための
ノウハウが学べるワークショップ形式のプログラム
～あなたの地域でも開催できます～



『トランジション合宿』とは

トランジションタウンを始めてみると、いろいろなことに遭遇し、さまざまな疑問にぶちあたります。そんなとき、「自分だけが特別な目にあっている」と思いがちですが、実はその多くは、市民活動にはつきものの、普遍的な出来事だったりします。市民活動や環境活動をうまく持続させるコツも、頓挫してしまうポイントも、世界共通なものが多いのです。

トランジション合宿は、
「トランジションタウン、どうやってはじめたらいいの？」
「チームの人間関係がぎくしゃくしてきたらどうしたらいいの？」
「活動を楽しく持続可能なものにするためにした方がよいことは？」
「いま地球規模で起きている危機について、地域の人たちといっしょに楽しく短時間で学ぶ方法は？」
「学んだ成果(知識や情報)を、分析や批判や無力感で終わらせず、前向きな実践として手応えを感じながら展開していく方法は？」
などなどの疑問に応えるワークショップ形式のプログラムです。

具体的に実践に即したノウハウやスキルを深く学ぶために、通常、1泊2日の合宿形式でおこないます。トランジション合宿は、世界中のあちこちで、TT活動中の有志の手によって常にバージョンアップ&アップデートされ、提供されているプログラムです。地域のつながりを回復し、楽しみな未来を自分たちの手でつくっていくトランジションタウン。2005年末にイギリスのトットネスという小さな町ではじまったこの試みは、わずか5年で世界中に広まり、すでに日本でも30近い地域でスタートしています。トランジションタウンの特徴のひとつに、コピーライトではなくコピーレフト(=ノウハウを公開し、有用な情報や知恵を徹底的に共有していこう)という姿勢があります。ホームページで手引書を誰でも無料でダウンロードできたり、ウィキやメーリングリストなどを活用してリアルタイムで情報共有をおこなうのもその一例ですが、1泊2日の合宿形式のワークショップで知恵を学びあう「トランジション合宿*」を世界中で開催しています。

トランジション合宿のオリジナルプログラムは、世界初のトランジションタウン・トットネスの立ち上げメンバー、ソフィーとナレッシュユによって開発されました。

トットネスでのトランジションタウンの大成功が脚光を浴び、イギリス各地で自分たちもトランジションタウンを立ち上げたいと活動を始めた人々からの要望に応える形で、2人はトランジション合宿のプログラムを提供しはじめました。環境活動家やセラピストなど2人のバックグラウンドを生かしつつ、さらにジャンルを問わずさまざまな分野からトランジションタウンに役立つ情報・知識・ノウハウ・スキルを時間をかけて収集し、トランジションが大切にしている3H「頭、体、心」をバランス良く、効果的に盛り込んだ内容になっています。2008年から2009年にかけて、2人は、世界中からのリクエストに応じてワールドツアーを敢行。数ヶ月をかけてヨーロッパ、アメリカ、アジアなど世界中でプログラム開催およびトレーナー養成を実施、日本もそのひとつでした。

トランジションジャパンとトランジションネットワークが提供する、日本と世界のTT最新情報が学べます。

ソフィーとナレッシュユのトレーナー養成を受けた人々は、その後、仲間呼びかけ、日本を始め世界各地で、自分たちの手でトランジション合宿を提供しはじめました。日本では、トランジションジャパンの有志メンバーが、トランジション合宿実施チームを結成し、2010年末までに5回のトランジション合宿をおこなっています。刻々と変化する世界情勢や、日本のトランジション事情、日本ならではのノウハウや、実践の中であらたに手に入れた知恵を持ち寄り、毎回リアルタイムできめ細かくバージョンアップとアップデートに心がけています。また、「より伝わりやすく、よりTT現場のニーズに即したものに。」を目指し、毎回、参加者アンケートを実施し、次の回にはそのフィードバックを反映する改訂作業を欠かさずおこなっています。

チームビルディング、効果的な広報の方法、心のケア、ワーキンググループの立ち上げ方などなど、TTの実践はもちろん、市民活動や環境活動、地域づくり、企業、持続可能なこれからのビジネスや行政のあり方を考える上で、すぐに役立つヒントが盛りだくさん。環境活動や市民活動が陥りがちなトラブルや失敗をあらかじめ避けるためのスキルやノウハウを網羅的に身につけることができます。合宿で出会う仲間との学び合いも貴重な体験で、そこで生まれたつながりは、今後の活動を続けていく上での財産となります。また、トランジション合宿に参加した人がひとつのトランジションタウンに2人以上いると、活動が飛躍的にスムーズにすすむことが実証されています。

トランジション合宿は、運営・実施方法、参加費などを含め、よりよいあり方を常に模索中です。学生など低所得の人でも受けられる工夫、再受講割引など、まだまだこれからですが試行錯誤を重ねています。トランジション合宿実施チームでは、いっしょに運営の方法を考え、実施にご協力くださる方を歓迎しています。

*このプログラムは、世界的には「トランジショントレーニング」と呼ばれており、日本でも当初、そのように呼んでいました。しかし、すでに日本語にもなっている「トレーニング」という言葉は、画一的なゴールを目指して一方的に指導するようなイメージを喚起するようで、このプログラムの内容と合致しないという意見が多く、2011年の秋以降からは「トランジション合宿」と呼ばれるようになりました。

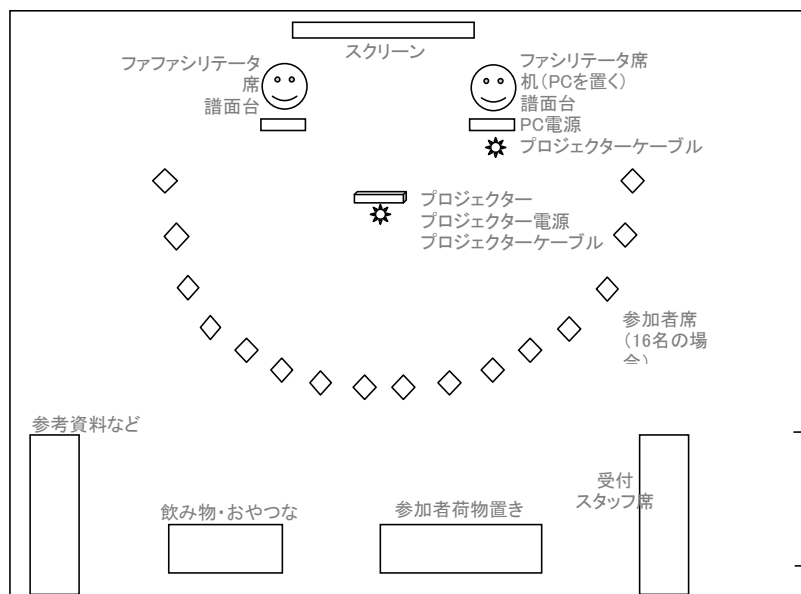
*「トランジション合宿」は、NPO法人トランジションジャパンが企画主催して開催する他に、コミュニティで企画しNPO法人トランジションジャパンから講師を招聘して開催する方法があります。この「トランジション合宿の作り方」は、コミュニティ主催で開催する際の、必要情報をまとめたものです。これを参考に地域で「トランジション合宿」是非開催してください。

■トランジション合宿の作り方

I 企画準備	
1	プログラムの所要時間 1泊2日 全14時間(1日目7時間、2日目7時間が一般的) 会場の場所や交通を考慮して、1日目2日目の時間割は事前にファシリテータにご相談ください
2	トレーニング受講者人数 催行人数:最少12名 最大24名 *部分参加について トランジション合宿は2日間でひとつのプログラムです。部分参加はファシリテータ側の進行上も少々やりづらく、TJとしてはお勧めできませんが、やむを得ない事情がある場合は主催者側の判断にお任せいたします。ただし以下の点は予めご了承ください。 ・2日目のみの参加はお断りします ・参加者募集の案内に「部分参加」については記載しないでください ・TJへのプログラム使用料一人2000円の割引はできません ・参加費についてもプログラム料の値引きは控えていただき、食費や宿泊費分の実費を引いた金額の設定をご提案します ・後日2日目のプログラムのみを受講することは極めて難しいことをご理解ください(希望者には、再度2日間のプログラムを受講していただくことになる可能性があります)
3	トレーニング参加費 次の料金の範囲内で主催者側で決めていただけます ¥15,000～¥20,000
4	会場の確保 会場選択のポイント: ・部屋の種類:公民館などの会議室* ・広さ:参加者12名の場合 約60㎡ / 参加者24名の場合 約80㎡ ・必要な設備: 長テーブルx4台(参加者の荷物置き、受付台、おやつ置き、各種参考資料置き)、椅子(参加者+ファシリテータ+予備) プロジェクター、スクリーン(白いシート、模造紙で代用もOK)、譜面台(2台)、スピーカー(あれば) 模造紙を数枚貼るスペースと道具(壁にセロテープやホワイトボードにマグネットなど) ・電源: ファシリテータPCx1、プロジェクターx1(最低2つは必要です) 設営イメージ図を参照の上、電源、プロジェクターとPCを繋ぐディスプレイケーブルの延長コードの要否も事前に確認してください *会場は、都市の中のごく一般的な会社や公民館などの会議室のイメージしてください *自然に恵まれた環境、古民家、和室などのようなゆったりした雰囲気は敢えて求めません *トレーニング中の参加者の履物は外靴、もしくは、スリッパを想定し、素足は控えてください
5	会場の周辺環境 極端な自然環境の中よりも交通至便で参加者のランチや夕食、懇親会に便利な場所が理想的です
6	当日スタッフの確保 ・人数:1名～2名 ・トランジション合宿受講経験者が理想(必須ではない) ・当日の受講者が兼務することはできません ・当日スタッフは、参加者数が奇数の場合は、WSの一部に参加していただく場合があります ・主催者側で確保できない場合は、早めにTJにご相談ください
7	食事・懇親会について ・食事:会場施設内の利用が可能であれば、その案内をしましょう。また、会場近くのランチどころ、買い物どころも事前に調査してあると便利です ・懇親会:2日目終了後の懇親会について、予め事前に参加者にアナウンスしておき、出欠確認の上会場を予約しておくのが望ましいです(インフォーマルミーティングの役割も重要です) *宿泊の場合1日目の夕食と2日目の朝食はどうなるか、どの食費を参加費に含むのかなど参加者へは事前アナウンスをお願いします *参加者の中には、菜食の方もいる可能性があるため、可能な範囲でその情報も調査し事前にお伝えしましょう
II 開催費用について	
1	プログラム使用料 2,000円/1人 *部分参加の割引はございません、ご了承ください
2	ファシリテータ料 60,000円/1回
3	ファシリテータ交通費 実費(企画の段階でTJもしくはファシリテータにお問い合わせください)
4	ファシリテータ宿泊費 ファシリテータの宿泊については、民泊も含めて主催者側からどこかご提案いただけるとありがたいです 宿泊費が必要な場合は、主催者側でご負担ください
4	TJへの支払いについて トレーニング終了後、TJの指定する口座にお振込みください。当日ファシリテータへのお支払いは不要です 領収書が必要な場合は、宛名を指定の上、TJまで予めお知らせください
III 開催告知について	
1	トランジション合宿の紹介とファシリテータのプロフィール 「トランジション合宿」については、本誌1頁目の「トランジション合宿とは」の文章をお使いください ファシリテータプロフィールについては、次頁の文章をお使いください
2	メールやブログでの告知 メールで告知の際は、ファシリテータ、TJもCCに入れて送信してください
3	TJのサイトでの告知 TJのサイト、メルマガでも、告知させていただきます(クローズドで募集の場合は、その旨お知らせください)

IV 当日準備		
1	必要備品	名札(参加者+ファシリテータ+スタッフ人数分)、ペン、参加者名簿、A4コピー用紙(白紙)10枚、模造紙7枚、給茶セット(ポット、コーヒー、紅茶、茶葉、コップなど)やジュースなど おやつ(ごみの少ないものを選びましょう、また、手作りおやつ、郷土の漬物、野菜スティックもいいかもわかりません) ポケットティッシュ(5つ)、セロテープ、マーカー7本以上 * 設備については、I. 企画準備-4. 会場確保欄を参照ください
2	トレーニングで使用する資料	・予めTJからお送りした資料を人数分印刷しておいてください ・参加者名簿は、開始前に各ファシリテータにもお渡しください ・アンケートは回収後、ファシリテータに預けてください
3	会場設営	初日、二日目のオープン時の設営例は次頁を参照ください プログラム中はファシリテータから指示があります
4	ランチマップ (お買い物マップ)	特に宿泊の場合は、参加者用に用意があると親切です
5	初日夜の懇親会	会場その他の状況により企画があっても構いません、企画がない場合も事前にその旨参加者にお知らせしましょう
6	最終日の懇親会	事前にファシリテータと相談の上、是非終了後の懇親会を企画してください インフォーマルミーティングの役割も重要です

■ 初日、二日目プログラム開始時の会場設営例



- ・プログラムの後半で壁に模造紙を5, 6枚貼ります。壁が使えない場合は、ホワイトボードなどを用意してください
- ・電源ケーブル、PCとプロジェクターを繋ぐディスプレイケーブルの長さは必ず事前に確認してください
- ・受付、荷物置きなどの机の配置は臨機応変に変更してください
- ・人数と比較して会場が広すぎる場合は、テーブルで広さの調整をすることがあります。当日講師と相談してください
- ・プログラム開始時は参加者には筆記用具(ペンや鉛筆)を用意してもらってください、ノートは必須ではありません

「トランジション合宿の作り方」に記載の内容のうち「II.開催費用について」以外の内容は、必須条件ではありません。不明な点は遠慮なくトランジション合宿事務局もしくはファシリテータに直接ご相談ください。また、備品等でコミュニティー内で準備できない物品は、貸し出しなど調達できる場合がありますので事前にご相談ください。

■ファシリテータープロフィール:

トランジション合宿のファシリテーターは、トランジションネットワークが提供するトレーナーズトレーニングを受講しています。

トランジション合宿の開催告知やチラシ等での、ファシリテーターの紹介は、以下の文章をお使いください。

榎本英剛・えのもとひでたけ(通称:ヒデ)

神奈川県と山梨県の県境にある人口1万人の町、藤野に在住。2005年から3年ほどスコットランドのフィンドホーンという世界的なエコビレッジに住み、持続可能な暮らしを研究中にトランジション・タウンの活動に出会う。帰国後、かつてパーマカルチャーをともに学んだ仲間たちとNPO法人トランジション・ジャパンを立ち上げ、地元・藤野でもトランジション藤野としての活動を始める。もともとは人の可能性を引き出すコミュニケーション手法であるコーチングが専門。

吉田俊郎・よしだしゅんろう(通称:しゅんろう)

外資系医療機器メーカー退社後2008年にパーマカルチャーの仲間とイギリスでトランジションタウンのトレーニング受講。日本にNPO法人トランジション・ジャパンを設立。現在は葉山パーマカルチャーワークショップの開催、環境運動、南阿蘇で米、家だけでなくエネルギーやコミュニティー作りをする一方、トランジションタウン運動を日本中に広めるべく全国で活動中。

中園順子・なかぞのじゅんこ(通称:まるじゅん)

クリエイティブディレクター／ヨガ・インストラクター／パーマカルチャーデザイナー。広告代理店でコピーライターとして勤務後、個人も地球も持続可能なしあわせを実現すべく、日本でのEDE(エコビレッジ・デザイン・エデュケーション)やトランジションジャパンの立ち上げにかかわる。2008年、仲間と日本初の都市型トランジションタウン、トランジション小金井を立ち上げたあと、自然豊かなちむゴエモン(トランジション相模湖)に引っ越し。さらに引っ越した現在は、広域トランジションの「トランジションおきなわ」準備中。

■トランジション合宿の開催希望やお問い合わせ窓口:

NPO法人トランジションジャパン トランジション合宿事務局宛
transitionjapan@gmail.com